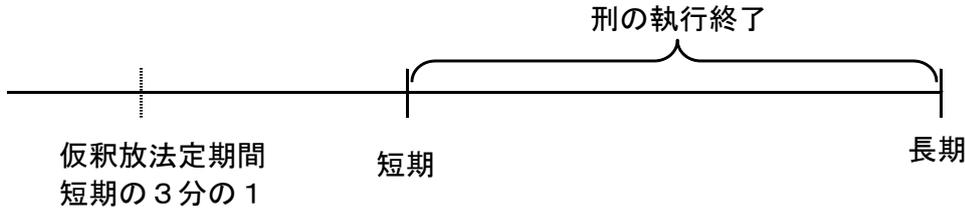


不定期刑の仮釈放要件（法定期間） 短期の3分の1

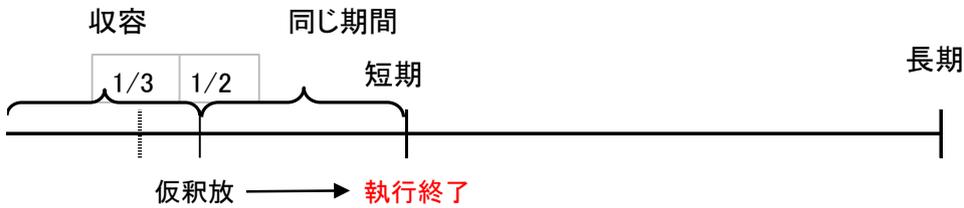
図A



不定期刑の執行終了要件

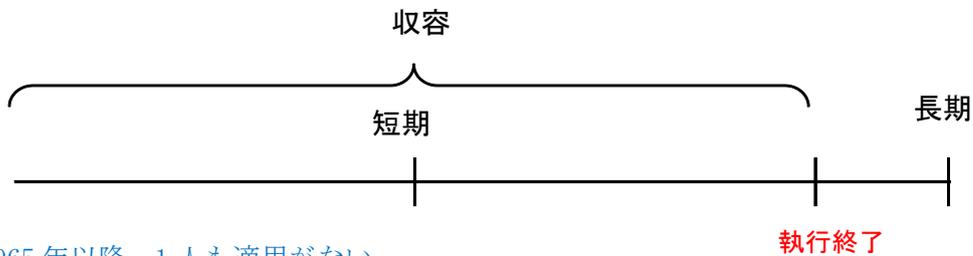
①仮釈放後、その処分を取り消されないうで仮釈放前に刑の執行を受けた期間と同一の期間を（長期経過前に）経過したとき（少年法第59条2項）

図1



②不定期刑の執行による収容中に短期が経過し、かつ、刑の執行を終了するのを相当と認めるとき（更生保護法第43条・44条）

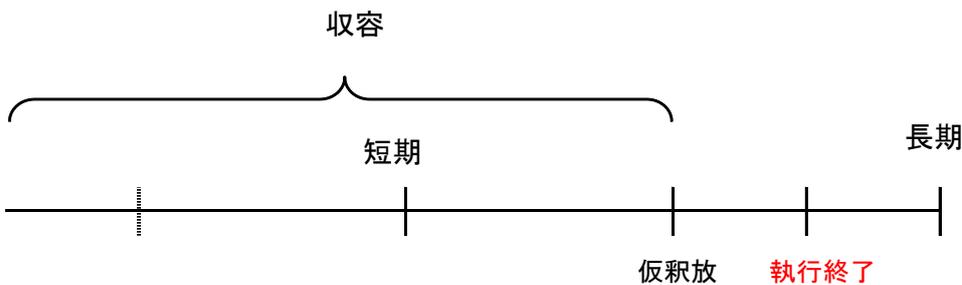
図2



1965年以降 1人も適用がない。

③仮釈放を許された者が、仮釈放前又は仮釈放中にその刑の短期が経過したものについて、刑の執行を終了するのを相当と認めるとき（更生保護法第78条）

図3



2000年以降、5人しか適用がない。